

新たな時代の教育デザインの構築について

《目 次》

1 背景

(1)新たな時代に対応した学びの必要性

(2)本市の現状と課題

(3)「北九州市こどもまんなか教育プラン」の策定

2 新たな時代の教育デザインの構築

3 新たな学校のイメージ

4 まとめ

1 背景

(1)新たな時代に対応した学びの必要性

【社会の変化】

✓DX ✓グローバル化 ✓地球温暖化 ✓少子高齢化 ✓インフラの老朽化 ✓多様性・包摂性

これからのこどもたちは、正解がないと言われる不透明な時代を生きる力を身につける必要がある。

これまで

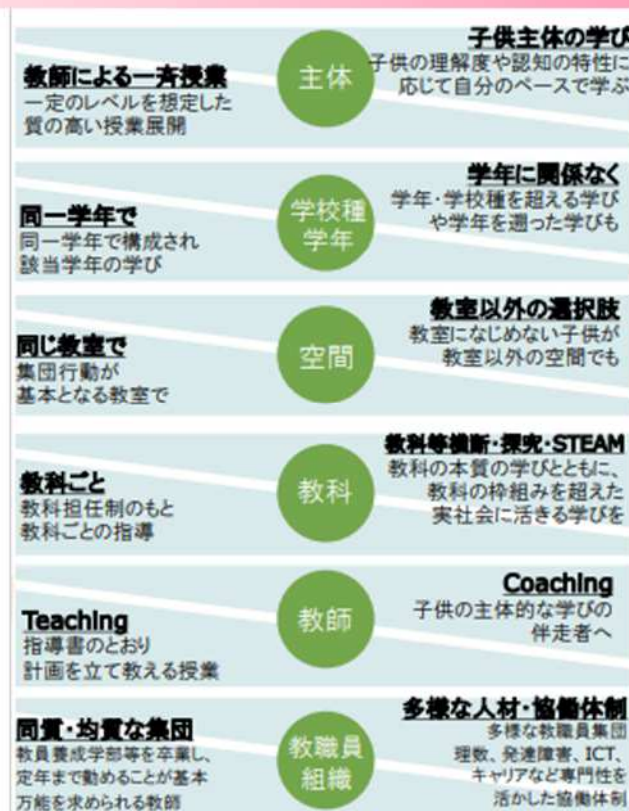
「そろえる」教育

同質性・均質性・
一律一様

- ・みんな一緒に
- ・みんな同じペースで
- ・みんな同じことを

学校種、学年、学級、
教科などの縦割り構造
に基づく教育の提供

限られた時間内に速く
正確に解く力を評価



今/これから

- ・個別最適な学び
- ・協働的な学び

多様性重視

- ・それぞれのペースで
自分の学びを
- ・対話を通じた
「納得解」の形成

社会とのシームレスな
協働体制により、一人
一人の特性を重視して
その力をさらに伸ばす
体制

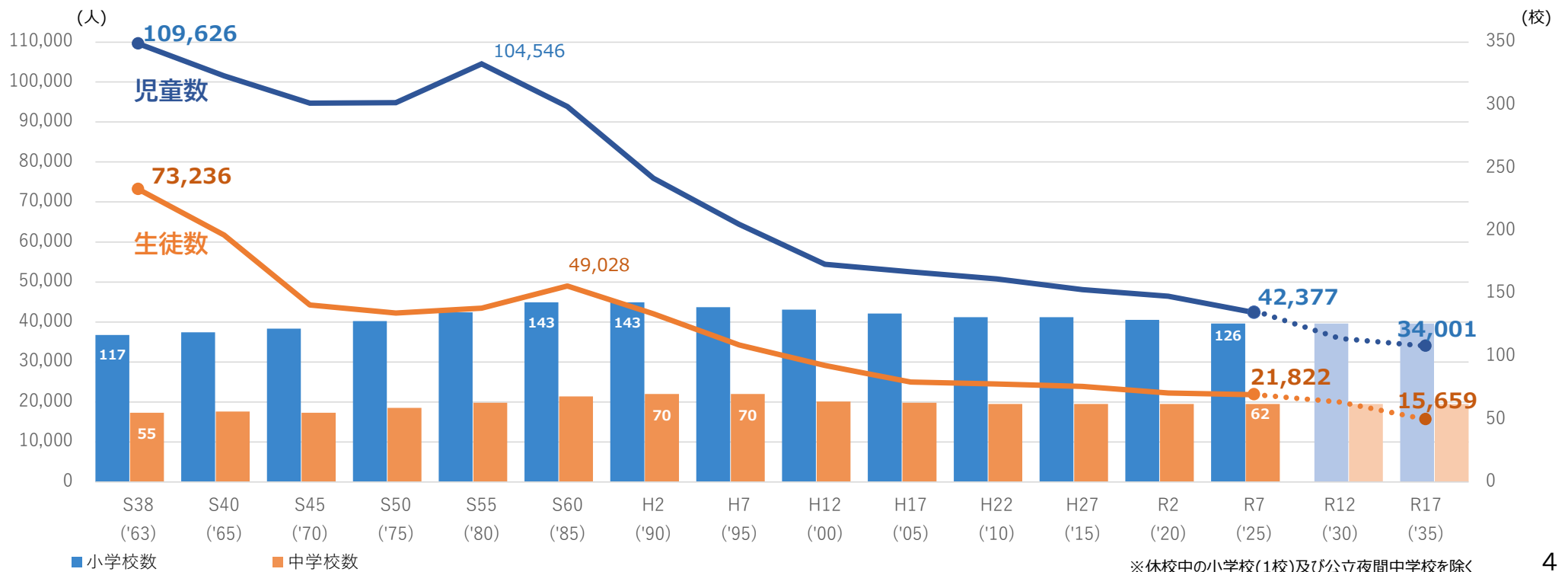
自ら課題を設定し課題に
立ち向かう「探究力」等
を評価

1 背景

(2)本市の現状と課題

① 少子化

- ✓児童生徒数は、北九州市制が発足したS38年をピークに減少傾向をたどっており、R7年には、児童数は約4万2千人、生徒数は約2万2千人に減少(ピーク時から約65%減)
- ✓一方で、学校数は、ピーク時から約12%の減少にとどまっている
- ✓児童生徒数(合計)の将来推計では、R7年に比べ、**R17年には約23%減**となる予測



1 背景

(2)本市の現状と課題

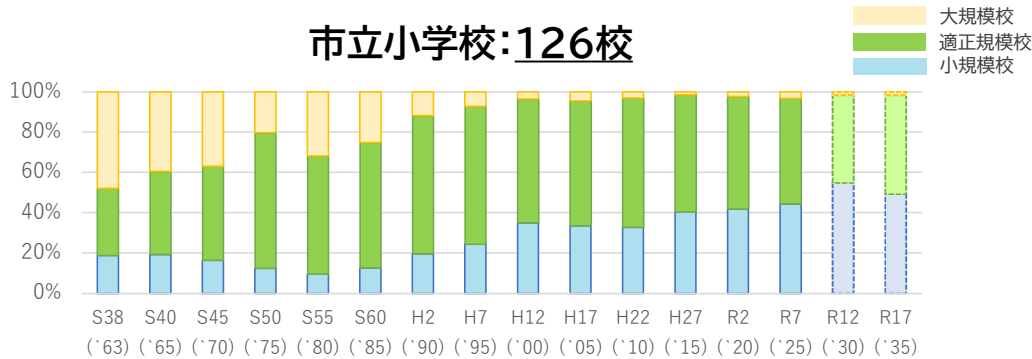
② 学校規模の推移・推計

- ✓ 小学校のR17推計では半数近くがクラス替えのできない学年単学級以下となる見込み
- ✓ 中学校のR17推計では、中学校の6割が小規模校になる予測

(学校規模)

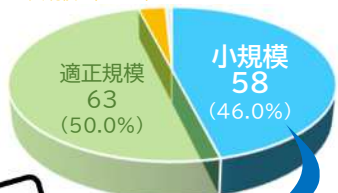
	小学校	中学校
大規模校	25学級以上	25学級以上
適正規模校	12～24学級	9～24学級
小規模校	11学級以下	8学級以下

市立小学校:126校



R7(2025)年

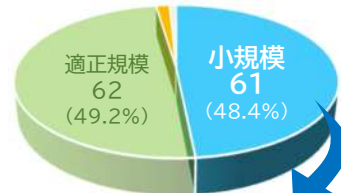
大規模4(3.2%) その他1(0.8%)



(10年後)

R17(2035)年

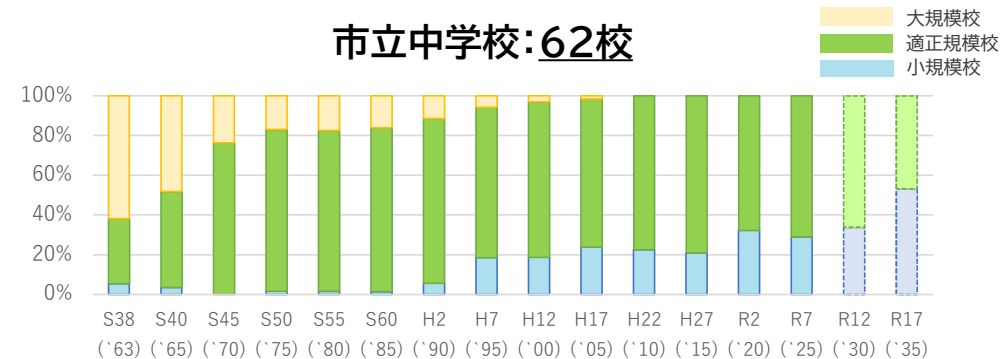
大規模2(1.6%) その他1(0.8%)



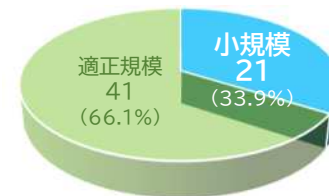
【R17(2035)年】
小規模校の約89%が
学年単学級以下に

さらに
【現状】
小規模校の約50%が
学年単学級以下(6学級以下)

市立中学校:62校

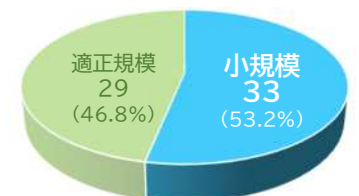


R7(2025)年



(10年後)

R17(2035)年



※休校中の小学校(1校)及び公立夜間中学校を除く

1 背景

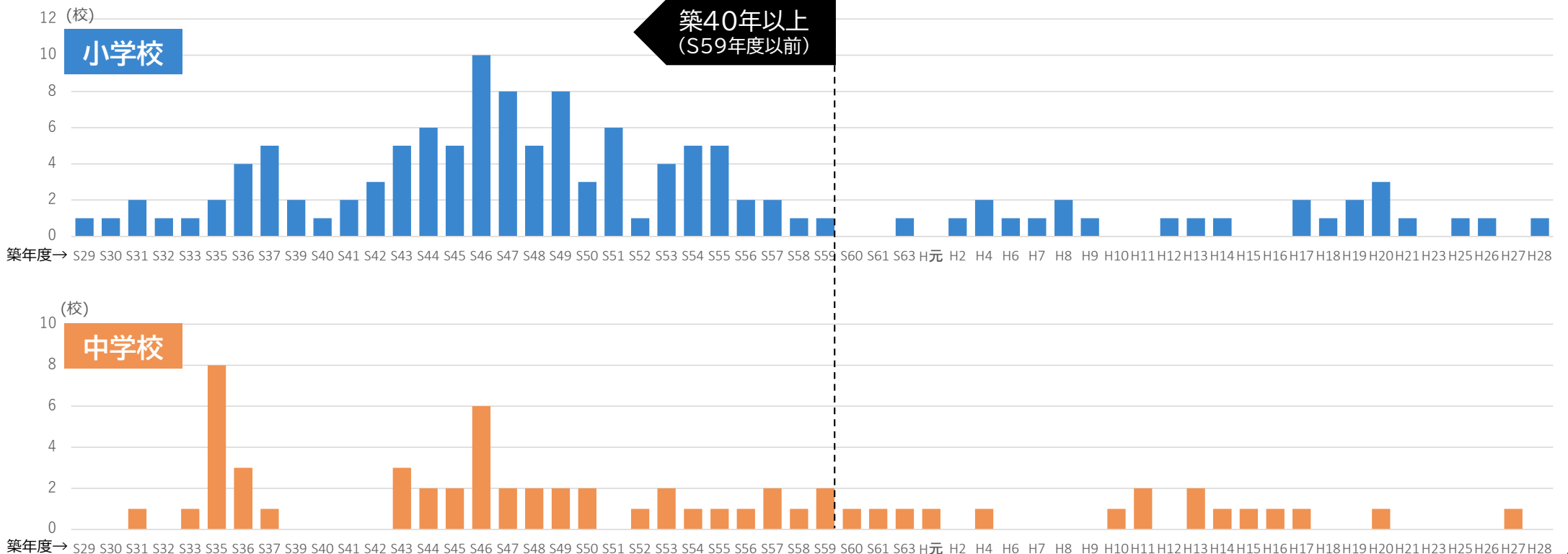
(2)本市の現状と課題

③ 施設の老朽化

- ✓ 小・中学校ともに、R7時点で築40年以上※の校舎を保有する学校が約8割と多く、今後、大規模改修や改築の時期が同じ時期に重なり、多額の施設整備費が必要となることが危惧される

※「北九州市学校施設長寿命化計画」に基づく大規模改修実施の目安

● 校舎の築年度(最も古い校舎)



※休校中の小学校(1校)及び公立夜間中学校を除く

1 背景

(3)「北九州市こどもまんなか教育プラン」の策定（R6）

【不透明な時代を生きる力】

- ✓自分なりの価値観・哲学
- ✓自分で問いを見つけ、解決する力
- ✓他者への思いやりや多様性の理解
- ✓本来持っている可能性の発揮

「こどもまんなか」で質の高い教育環境の充実

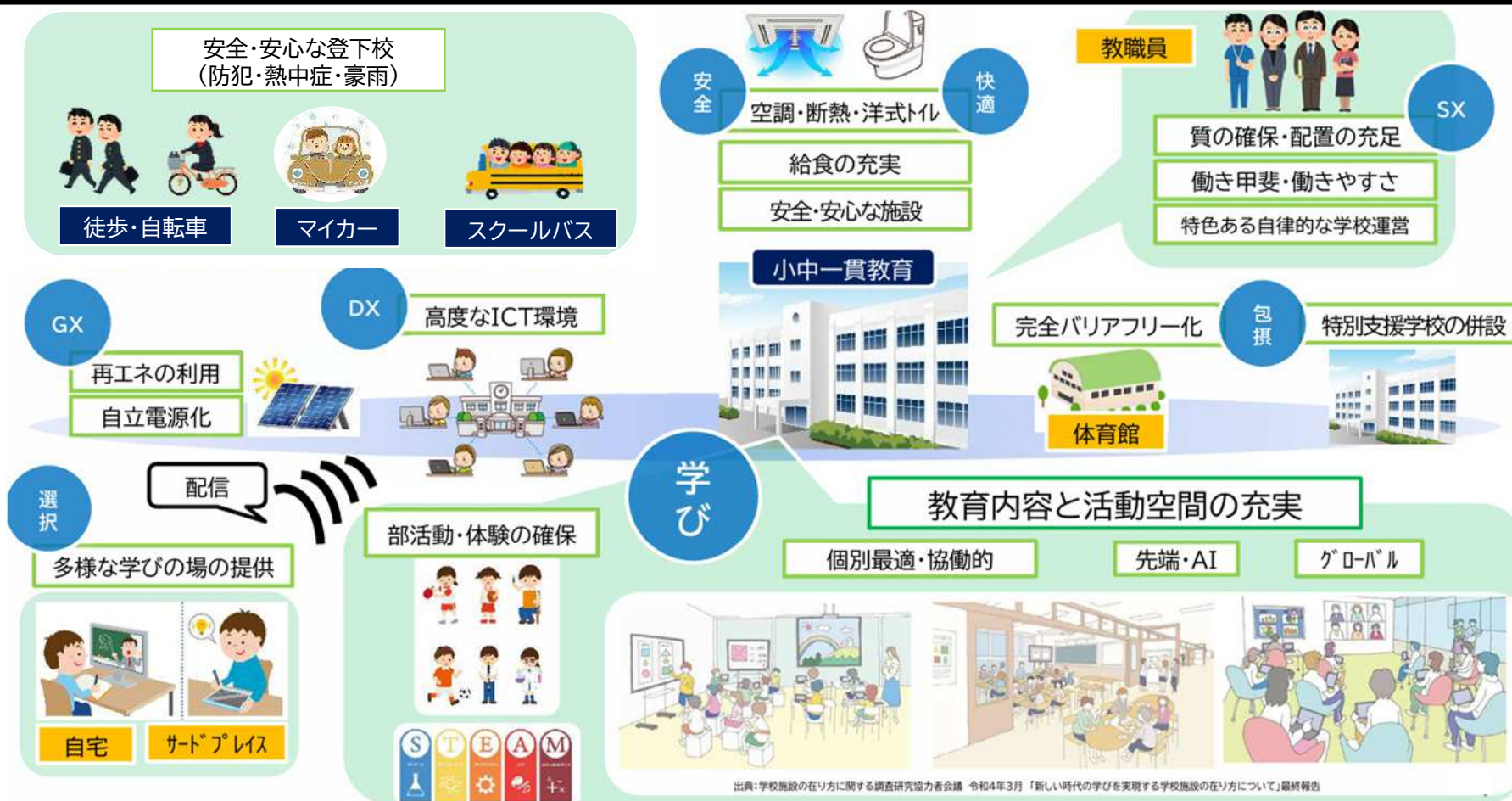
- ① 全てのこどもにとって「居心地の良い学校」をつくる
- ② 失敗を恐れず挑戦し、志と人間力を高められる環境をつくる
- ③ 誰一人取り残さない学びと、先端的な学びを進める
- ④ 学校の自律性と教職員のウェルビーイングを高める
- ⑤ 地域とのつながりの中で、こどもを見守り支え、育てる

- ✓「こどもまんなか」とは、
「こどもの視点や考え方を大切すること」と、「こどもたちを、社会を構成する存在として尊重すること」
- ✓ 5つの柱に基づいて、こども一人ひとりの中にある思いや考えに耳を傾け、それぞれの個性や多様性を尊重し、こどもたちが持っている可能性を発揮していける教育を推進

2 新たな時代の教育デザインの構築【R7年1月 総合教育会議】

学校施設を集約し、従来の学校の姿から脱却して新たな時代の学びに対応する、持続可能な学校教育へアップデート

✓こどもまんなか ✓質の高い教育 ✓持続可能性 ✓教職員のウェルビーイング



3 新たな学校のイメージ(教室)【参照:文部科学省資料】

多様な学習活動が展開できる空間（レイアウト転換のしやすさ）



「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」最終報告（文部科学省）
(https://www.mext.go.jp/content/20220328-mxt_sisetuki-000021509_3.pdf) を加工して作成

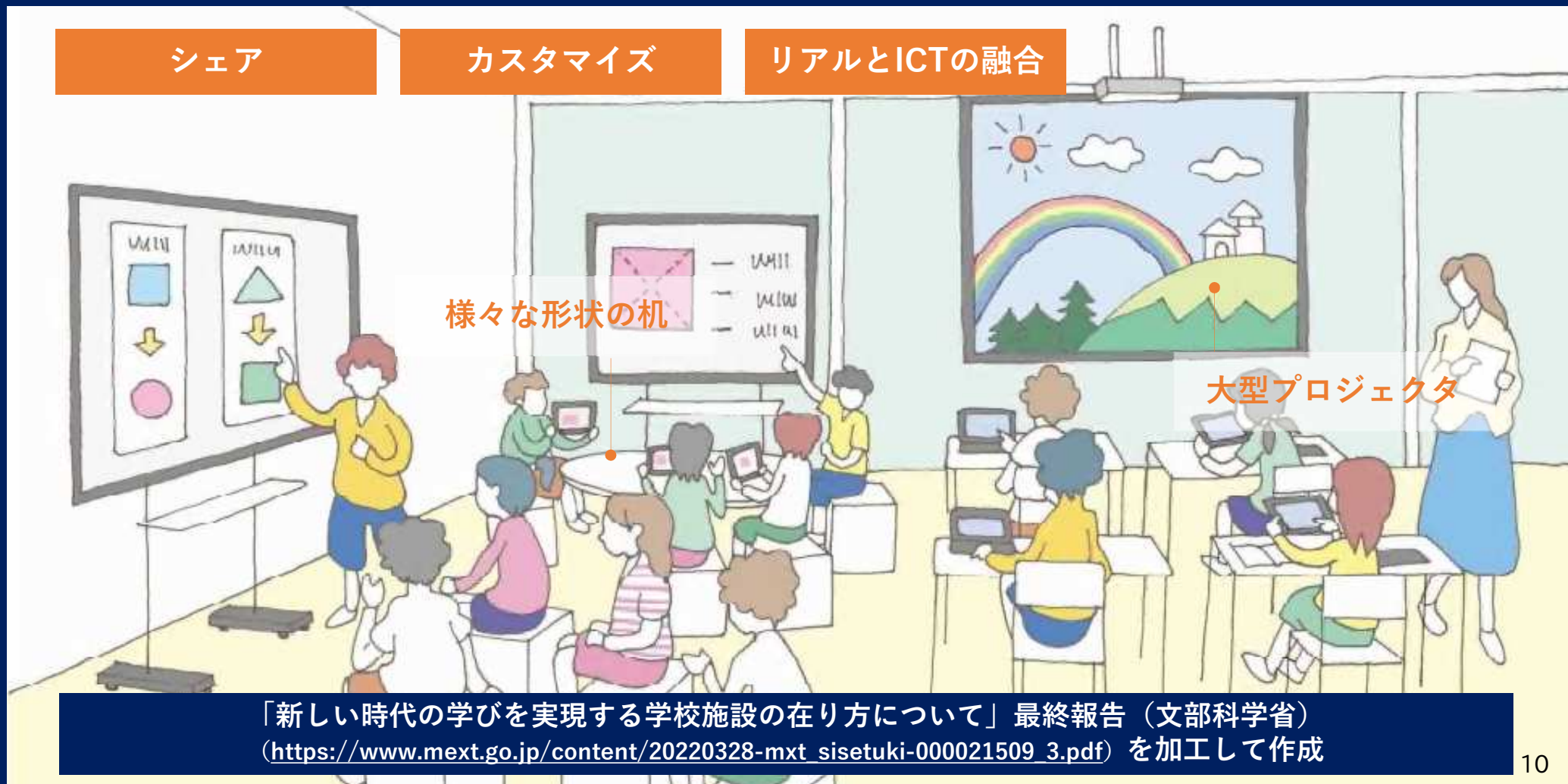
3 新たな学校のイメージ(教室)【参照:文部科学省資料】

多様な学習活動が展開できる空間 (アウトプット手段の充実)

シェア

カスタマイズ

リアルとICTの融合



3 新たな学校のイメージ(学校図書館)【参照:文部科学省資料】

読書・学習・情報のセンターとなる学校図書館



書籍とICTの融合

休息・リラックス

動線を中心

STEAM・教科横断

読書の場の充実

探究・総合学習

「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」最終報告（文部科学省）
(https://www.mext.go.jp/content/20220328-mxt_sisetuki-000021509_3.pdf) を加工して作成

3 新たな学校のイメージ(職員室)【参照:文部科学省資料】

働きやすく働きがいのある執務空間



相談・打ち合わせ

研究・教材製作・ICT

休息・リラックス

集中して仕事ができる



「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」
最終報告（文部科学省）
(https://www.mext.go.jp/content/20220328-mxt_sisetuki-000021509_3.pdf)
を加工して作成

3 新たな学校のイメージ(全体)【参照:文部科学省資料】

全てのこどもにとって「居心地の良い」安全安心な学びの場



ゆとり・快適

バリアフリー

多様性

保護・配慮
(小さな部屋)

交流
(大きな部屋)



「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」
最終報告（文部科学省）
(https://www.mext.go.jp/content/20220328-mxt_sisetuki-000021509_3.pdf)
を加工して作成

4 まとめ

「新たな学び」と「安全安心」を
実現するハード

時代が求める「新たな学び」を
実現するソフト



探究的な学び



教職員のウェルビーイング



個別最適・協働的な学び

全てのこどもを「**守り**」、「**可能性を開花**させる」**居心地の良いフィールド(学校)を創る**